

『コンピュータ理論の起源 第 1 巻 A. チューリング』第一刷の正誤表

佐野勝彦・杉本舞 作成

- (1) 89 頁, 15 行目  
(誤) 無限長のテープを内蔵する無限の記憶装置  
(正) 無限長のテープに含まれた無限の記憶装置
- (2) 89 頁, 16 行目  
(誤) 十分に一般的  
(正) 十分に汎用的
- (3) 103 頁, 下から 6 行目  
(誤) 人は望むようにできるが, しかし決断をしなければならない  
(正) 各自は望むようにできるが, しかし自分で決断をしなければならない
- (4) 111 頁, 最終行  
(誤) 基本的にメモリ間の転送命令で  
(正) 基本的に演算器を経由したメモリ間の転送命令で
- (5) 124 頁, 14 行目  
(誤) 配置が与えられたときに,  
(正) 機械の状態 (配置) が与えられたときに,
- (6) 126 頁, 下から 3 行目  
(誤) 実際 L.C.M 上で行うことができたいかなる仕事も, これらのデジタル計算機の一つで同様に行うことができる. 私は, そのようにデジタル計算機を設計できるといおうとしているのではなく  
(正) 実際 L.C.M. 上で行いうるどのような仕事を与えられても, これらのデジタル計算機の一つで同様に行うことができる. 私は, その仕事をする一台のデジタル計算機を設計できるといおうとしているのではなく
- (7) 127 頁, 6 行目  
(誤) その答えは以下のようなものであるらしい.  
(正) その答えは以下のようなものに思われる.
- (8) 127 頁, 17-18 行目  
(誤) 数字もしくは区画の列, たとえば区画  $1, 2, \dots, n$  を保存するために, ある区画を脇に取っておく  
(正) その数字を保存するための区画, あるいは区画の列, 例えば区画  $1, 2, \dots, n,$  をも脇に取っておく
- (9) 127 頁, 下から 9 行目  
(誤) 実際, U.L.C.M. にはいくらか問題があるだろう.  
(正) 実際, 幾分入り組んだ U.L.C.M を手に入れるだろう.
- (10) 132 頁, 下から 9 行目  
(誤) 機械を制作する確実な方法  
(正) 機械を制作する「確実な」方法
- (11) 137 頁, 12 行目  
(誤) これはすべて推論にすぎない.  
(正) これはすべて推測にすぎない.

---

Date: January 31, 2018.

- (12) 143 頁, 11-12 行目  
(誤) ランダムに配置された記憶ユニットから始めて,  
(正) (削除)
- (13) 143 頁, 16 行目  
(誤) 知的, 遺伝学的な, 文化的な探求  
(正) 知的, 遺伝学的な, 文化的な探索
- (14) 176 頁, 17 行目  
(誤) どれが予想なのかが明らかになったところで  
(正) どれが予想なのかが明らかになっていれば
- (15) 179 頁, 下から 5 行目  
(誤) ジェファーソン教授  
(正) ジェファーソン教授
- (16) 184 頁, 17 行目  
(誤) ハートリー  
(正) ハートリー
- (17) 186 頁, 15 行目  
(誤) ちょうどよい答えを与える  
(正) おおよそ正しいような答えを与える
- (18) 186 頁, 下から 7 行目  
(誤) 規則一式を作るのは不可能ではない  
(正) 規則一式を作るのは不可能だ
- (19) 187 頁, 16-18 行目  
(誤) [...] であることを含意しているのが真でないだけでなく, 逆にそのような機械であるということがそのような法則で規定されていることを含意しているというのも真ではないと信じている  
(正) [...] であることを含意しているのが真であるだけでなく, 逆にそのような機械であるということがそのような法則で規定されていることを含意しているというのも真であると信じている
- (20) 187 頁, 18-19 行目  
(誤) 振舞いの完全な法則の欠如はそう簡単に確信できない  
(正) 振舞いの完全な法則がないということを, 我々はそう簡単に確信できない
- (21) 190 頁, 16-17 行目  
(誤) 要請に対して十分なほどになるだろうということはあるそうもない  
(正) 要請に対して適切なほどにならないだろうということはあるそうもない
- (22) 190 頁, 21 行目  
(誤)  $10^9$  以上が  
(正)  $10^9$  より多くが
- (23) 192 頁, 1 行目  
(誤) 授業料も与えられねばならない  
(正) なんらかの教育が与えられねばならない
- (24) 192 頁, 下から 4-5 行目  
(誤) 一般的原理に一貫して基づいて  
(正) 一般的原理に整合的に
- (25) 193 頁, 18 行目  
(誤) 足をもたない  
(正) 手足をもたない
- (26) 194 頁, 下から 7 行目

- (誤) 振舞いからからの逸脱  
(正) 振舞いからの逸脱  
(27) 221 頁, 参考文献 [46] の著者名  
(誤) M. A. H. Newman  
(正) M. H. A. Newman